

序文	清水道生	3
----	------	---

1章 知っておくべき細胞診の基礎知識 9

知っておくべき細胞診の基礎知識

清水道生, 船津靖亮

2章 実践的な細胞診の見方 21

1 婦人科

①子宮頸部	水野秀一, 長峯理子	22
演習問題 (子宮頸部)	水野秀一, 長峯理子	41
②子宮内膜	桜井孝規, 矢野恵子	45
演習問題 (子宮内膜)	桜井孝規, 矢野恵子	55
③卵巣	柳井広之, 蟹井早優美	59
演習問題 (卵巣)	柳井広之, 蟹井早優美	67

2 呼吸器	沼上秀博, 清水禎彦	69
演習問題 (呼吸器)	沼上秀博, 清水禎彦	85

3 乳腺	坂谷貴司, 葉山綾子	89
演習問題 (乳腺)	葉山綾子, 坂谷貴司	101

4 甲状腺	近藤哲夫, 天野高志	105
演習問題 (甲状腺)	近藤哲夫, 天野高志	117

5 泌尿器	南口早智子, 池田美奈	121
演習問題 (泌尿器)	南口早智子, 池田美奈	133

6 体腔液・脳脊髄液

- ①体腔液 鶴岡慎悟, 河原邦光 …………… 137
- ②脳脊髄液 鶴岡慎悟, 河原邦光 …………… 158
- 演習問題 (体腔液・脳脊髄液) 鶴岡慎悟, 河原邦光 …………… 161

7 その他

- ①口腔 久山佳代, 金田悦子 …………… 165
- 演習問題 (口腔) 久山佳代, 金田悦子 …………… 177
- ②唾液腺 湊 宏 …………… 179
- 演習問題 (唾液腺) 湊 宏 …………… 189
- ③肝・胆・膵 伴 慎一, 山崎泰樹 …………… 193
- 演習問題 (肝・胆・膵) 山崎泰樹, 伴 慎一 …………… 203
- ④リンパ節 大澤久美子, 大野優子, 百瀬修二 207
- 演習問題 (リンパ節) 大澤久美子, 大野優子, 百瀬修二 219
- ⑤脳腫瘍 田邊一成, 柴原純二 …………… 223
- 演習問題 (脳腫瘍) 田邊一成, 柴原純二 …………… 235
- ⑥骨軟部 楠木麻子, 浅見英一, 元井 亨 … 237
- 演習問題 (骨軟部) 楠木麻子, 浅見英一, 元井 亨 … 247

3章 免疫細胞化学

249

免疫細胞化学

伊藤智雄, 塚本龍子

演習問題 (免疫組織化学)

塚本龍子, 伊藤智雄 …………… 263

■コラム

コラム① Salt and pepper chromatin について	清水道生 ……………	16
コラム② 子宮頸部上皮性病変組織分類の変遷	長峯理子 ……………	25
コラム③ HPV 単独検診時代のトリアージ細胞診	水野秀一, 長峯理子 ……	26
コラム④ 子宮頸部病変における細胞診・組織診の乖離と診断基準の課題	長峯理子 ……………	40
コラム⑤ 細胞異型という名のグレーゾーン	桜井孝規 ……………	54
コラム⑥ 定義と実務の間にある“乳頭状”	桜井孝規 ……………	95
コラム⑦ 乳腺診断における FNA と CNB —— 日本の現場が迎える移行期	桜井孝規 ……………	100
コラム⑧ 細胞診の落とし穴：標本の背後に潜むコンタミネーション	清水道生 ……………	116
コラム⑨ 細胞診で“気づく力”を磨く	清水道生 ……………	132
コラム⑩ 細胞診を読み解く“5つの診断クルー”	清水道生 ……………	157
コラム⑪ 細胞診の本質：形態学を超えた“読み解く力”	清水道生 ……………	218
コラム⑫ その形、見逃すな——特徴的な“5つの細胞像”	清水道生 ……………	233
コラム⑬ 細胞診の心得七か条	清水道生 ……………	234
コラム⑭ AI時代の細胞診——最後に残るのは“人間の違和感”	清水道生 ……………	262
コラム⑮ 病名変更にみる医学の進歩——この20年の歩み	清水道生 ……………	265
索引	……………	266